

埋文にいがた

No. 87
2014. 6. 30

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

新潟県埋蔵文化財センターの紹介

新潟県埋蔵文化財調査事業団は、平成26年4月から公益財団法人へ移行しました。これまでと同様に、埋蔵文化財の調査・研究、埋蔵文化財保護思想の普及、保存業務等を行います。

当事業団は県内各地で遺跡の発掘調査を実施し、出土品や記録類を新潟市秋葉区にある新潟県埋蔵文化財センターへ持ち帰り、保存処理・保管・管理しています。そのため、埋蔵文化財センターには県内各地の土器や石器、木製品・金属製品が大量に收藏されています。出土品はただ收藏しておくだけではなく、優品を常設展示や企画展として展示しています。企画展はほぼ半年に1回展示替えを行い、より多くの出土品をご覧いただけるように工夫しています。また、年間を通じて受け入れている校外学習では、出土品見学や火起こし・勾玉作りなどの体験学習を行っています。学校に限らず、公民館行事などで団体見学や体験学習を希望される場合は、事前に当事業団普及担当にご相談下さい。

埋蔵文化財センターでは遺跡や出土品を通して歴史に親しんでいただくために様々な催し物を開催しております。6月の「にいつ花ふるフェスタ」では多くの方が火起こし・勾玉作りを楽しみました。今年度の予定は本紙4・5頁をご覧ください。



「にいつ花ふるフェスタ」開催時の外観



常設展示

【開館時間】 9:00～17:00 【入館料】 無料

【休館日】 年末年始（12月29日～1月3日）

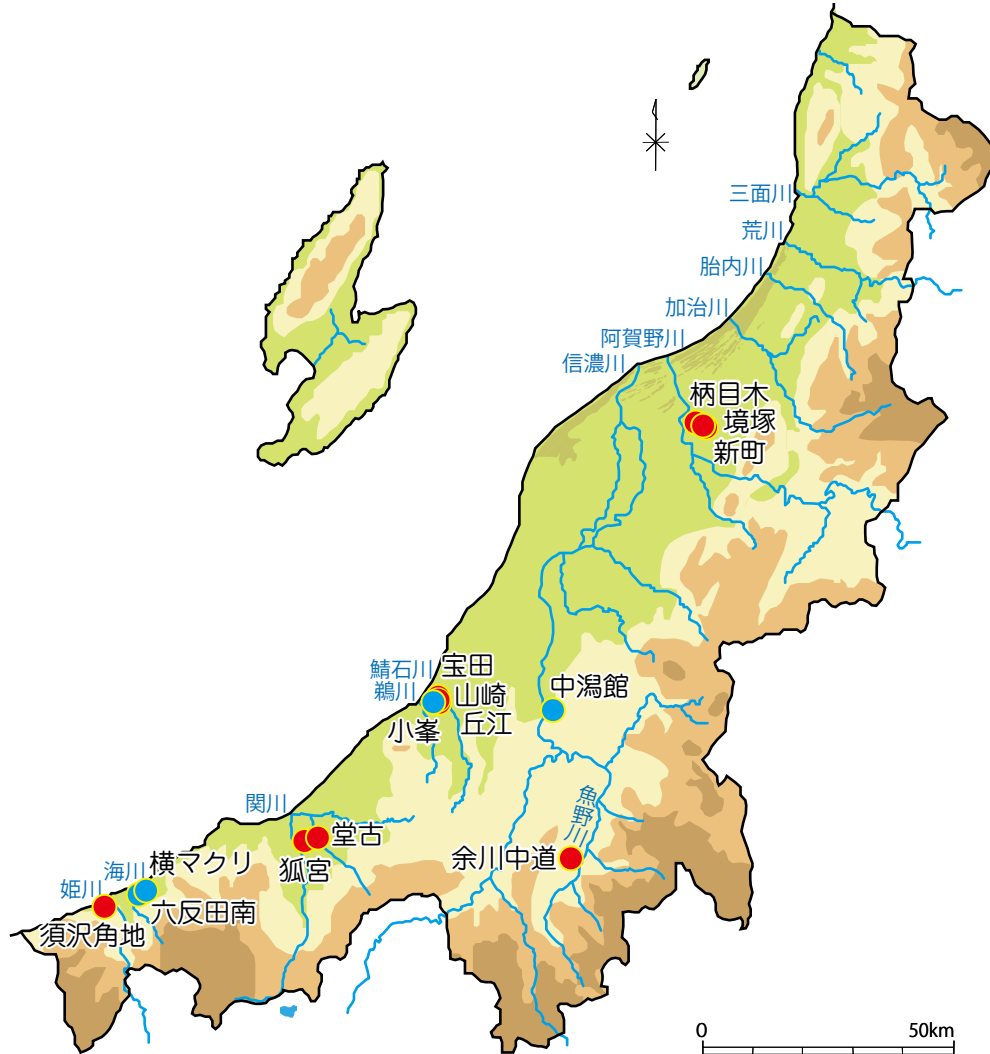
※展示室は土曜・日曜・国民の祝日も公開しています。



エントランスの展示（企画展）



平成26年度発掘調査遺跡・整理作業遺跡予定一覧



本発掘調査

遺跡名	事業名	所在地	調査期間	主な時代
さかいづか 境塚遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	4～6月	古代・中世
しんまち 新町遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	4～9月	中世
からめき 柄目木遺跡	国道49号阿賀野バイパス	阿賀野市	10・11月	古代・中世
たからだ 宝田遺跡	国道8号柏崎バイパス	柏崎市	4～11月	古代・中世
やまさき 山崎遺跡	国道8号柏崎バイパス	柏崎市	4～11月	古代・中世
おかえ 丘江遺跡	国道8号柏崎バイパス	柏崎市	4～11月	弥生～古墳・中世
よかわなかみち 余川中道遺跡	国道17号六日町バイパス	南魚沼市	4～11月	古墳・中世
どうこ 堂古遺跡	国道253号上越三和道路	上越市	4～8月	古代
きつのみや 狐宮遺跡	国道253号上越三和道路	上越市	9～11月	古代
すざわかち 須沢角地遺跡	北陸新幹線	糸魚川市	4・5月	古代・中世

整理作業

遺跡名	所在地	主な時代
こみね 小峯遺跡	柏崎市	古代・中世
なかたやかた 中潟館跡	長岡市	縄文・中世
よこ 横マクリ遺跡	糸魚川市	古墳・古代
ろくたんだみなみ 六反田南遺跡	糸魚川市	縄文～中世

平成26年度発掘調査遺跡の紹介

す ざわ かく ち
須 沢 角 地 遺 跡

(糸魚川市須沢字大坪2,672番地 2ほか)

遺跡は姫川左岸の扇状地の西端に立地し、標高8mを測ります。姫川まで東に700m、日本海まで北に600mほどです。これまでたびたび発掘調査が行われ、今回で7回目の発掘調査となります。須沢角地遺跡は、過去の発掘調査により、奈良・平安時代、中世の集落であることがわかっています。特に奈良・平安時代では、竪穴建物41棟のほか、鉄製鋤先や風字硯（風の字に形の似た硯）なども出土し、この地域の有力な集落の一つとされています。

今回の発掘調査は、北陸新幹線の建設に伴う市道取付工事に先立ち、4月から行いました。調査面積は268㎡（67㎡×4面）で、5月末で調査が終了しました。第1・2面は中世の生活面でしたが、珠洲焼や瀬戸美濃焼が数点出土した以外に、遺構はありませんでした。第3・4面は奈良・平安時代の生活面で、土師器や須恵器の土器が多く出土しています。須恵器の中には、遺跡の西方600mに存在した西角地古窯跡で生産されたものも多く見られました。このほか砥石や鉄片なども出土しています。遺構は第3面でピット（穴）が11基見つかりました。ピットは大きさや並びに規則性が見られず、何に使用されたか不明です。第4面では洪水堆積で埋まった川が見つかりました。

今回は調査面積が狭かったにもかかわらず、奈良・平安時代の遺物が多く出土し、遺構もピットが見つかりました。過去の調査成果を裏付ける資料といえます。

調査の終わりには、遺跡や出土品の公開を目的に現地説明会を開きました。地元須沢地区住民を中心に多くの方が遺跡を訪れ、遺構や出土品を見学しました。（高橋保雄）



調査区近景（東から）



第3面 須恵器の杯出土状況（西から）



奈良・平安時代の遺構（南から）



現地説明会:遺構の見学（北東から）

越後国域確定1300年

縄文時代の新潟県



和銅5（712）年の越後国域確定から平成24年で1300周年を迎えました。平成26年度は越後国の原点ともいえる縄文時代をテーマとして、県の成り立ちや魅力を知るイベントを開催します。昨年度と同様に、リレー講演会や遺跡ウォーキングなどの事業を展開します。

また、県内の埋蔵文化財関係イベントを集約したパンフレット「新潟まいぶんナビ」を2回発行します。

詳しくは新潟県教育庁文化行政課ホームページをご覧ください。

リレー講演会・遺跡ウォーキングは申込が必要です。

【お問い合わせ先】

新潟県文化行政課埋蔵文化財係

電話：025-280-5620

<http://www.pref.niigata.lg.jp/bunkagyosei/>

参加費無料！

■リレー講演会「縄文時代の新潟県」

回	日程	会場	タイトル
3	7月6日(日)	佐渡島開発総合センター	「縄文の里海と佐渡の貝塚」 「佐渡市の縄文遺跡」
4	8月31日(日)	青海総合文化会館	「寺地遺跡と縄文時代の木の文化」 「糸魚川市の縄文遺跡」
5	9月14日(日)	新発田市生涯学習センター	「縄文時代の流通と新潟県の様相－土器と黒曜石の産地分析のお話を中心として－」 「新発田市の縄文遺跡」
6～9		新潟県埋蔵文化財センター	詳しくは下記「新潟県埋蔵文化財センターで開催する行事」参照。
10	2月22日(日)	新潟県立歴史博物館	「青田遺跡の暦年代から読み解く縄文時代のくらし」

■巡回展「遺跡が語る新潟県の歴史」

開催期間	会場	備考
12月20日(土) ～3月22日(日)	新潟県立歴史博物館 巡回展観覧：無料 常設展示：有料	和銅5（712）年の越後国域確定から平成24年で1300周年を迎えました。これを記念して、平成24～26年度には新潟県教育委員会が発掘調査した遺跡の旧石器時代から平安時代の逸品を新潟県埋蔵文化財センターで展示しました。今回はその3年分の展示品をまとめて展示します。

■遺跡ウォーキング

開催予定時期	予定場所	備考
10月	魚沼市	決定次第、文化行政課ホームページ等でお知らせします。
11月	長岡市	

越後国域確定1300年記念事業

新潟県埋蔵文化財センターで開催する行事

催し物	期 日	時 間	内 容	定員	申込期間	受付	
第6回リレー講演会	10月5日(日)	13:00～15:00	「縄文時代の記念物」	80人	9/1～10/3	先着順	
第7回リレー講演会	11月16日(日)	13:00～15:00	「概説① 新潟県における縄文時代のはじまり」	80人	9/1～11/14		
第8回リレー講演会	12月7日(日)	13:00～15:00	「概説② 新潟県における縄文時代の中ごろ」	80人	9/1～12/5		
第9回リレー講演会	1月18日(日)	13:00～15:00	「概説③ 新潟県における縄文時代のおわり」	80人	9/1～1/16		
企 画 展	7月26日(土) ～12月7日(日)	9:00～17:00	「遺跡が語る縄文時代の新潟県」	なし	なし		
親子考古学教室 (対象：小学校3年生以上の子どもとその保護者)	8月9日(土)	10:00～15:00	火起こし・ 勾玉作り	夏休みに親子で考古学を学ぶ講座です。遺跡から出土した土器や石器などの見学と体験を組み合わせ学習します。火起こし、勾玉作り、土器作りの体験を行います。回によって体験内容が異なりますので、申込みされる際にはご注意ください。	各回 20組	7/14～7/27	申込み多数の場合は抽選
	8月15日(金)		火起こし・ 土器作り				
	8月24日(日)		火起こし・ 勾玉作り				
まいぶん祭り	9月20日(土)	9:00～16:00 (予定)	子どもから大人まで、古代の道具にふれることのできる体験イベントです。勾玉作りや火起こしなど、当時の生活を考え楽しむ体験が盛りだくさんです。当日は県立植物園、新潟市秋葉区産業振興課、新潟市弥生の丘展示館でもイベントを開催する予定です。	なし	なし		

【申込先】(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986 メール:niigata@maibun.net

入館料・参加費無料ですが、リレー講演会と親子考古学教室は事前に参加申込みが必要です。電話・ファックス・メールのいずれかの方法で(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団にお申し込みください。

■企画展「遺跡が語る縄文時代の新潟県」(平成26年7月26日～12月7日)

復元後初公開の長岡市^{だいぶ}大武遺跡の縄文時代前期の土器、当時の繊細な加工技術を知ることができる新発田市^{あおた}青田遺跡や大武遺跡の木製品・漆製品など、旧石器時代から縄文時代の代表的な出土品を展示し、縄文時代の人々の生活等を解説します。1万年近く続いた縄文時代の変遷を知り、現代にも通じる価値観などを感じてください。



大武遺跡 縄文土器



川久保遺跡 縄文土器



長割遺跡 縄文土器



大武遺跡 木製脚付盤



撮影：小川忠博

青田遺跡 釜状編物



長割遺跡
大珠

■「親子考古学教室」(平成26年8月9・15・24日)

夏休みに親子(小学校3年生以上)で考古学を学ぶ講座です。埋蔵文化財センターの見学と、マイギリ法の火起こし、滑石製の勾玉作り、オープン陶土を使った土器作りの体験を行います。(各回で体験内容が異なります。)

【申込先】 7月14日受付開始(申込み多数の場合は抽選)

(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

電話：0250-25-3981 FAX：0250-25-3986

メール：niigata@maibun.net.



■「まいぶん祭り」(平成26年9月20日(土))

子どもから大人まで、古代の道具にふれることのできる体験イベントです。勾玉作りや火起こしのほか、本物の土器に触る体験コーナーもあります。当日は県立植物園、新潟市秋葉区産業振興課、新潟市弥生の丘展示館でもイベントを開催する予定です。



県内の遺跡・遺物85

うわのばやしじえい

上野林 J 遺跡出土品 (平成20年3月県指定)

(遺跡所在地:阿賀野市保田字上野林 遺物保管:阿賀野市(水原ふるさと農業歴史資料館))

上野林J遺跡は、新潟県北部の阿賀野川と五頭山地西斜面から流れ出るツベタ川などの氾濫原に囲まれた独立丘陵上に立地します。標高は約30mです。産業団地造成に伴い、平成4年から6年に安田町教育委員会が発掘調査を行いました。その結果、現地表面から約50cmの深さで今から約3万年前の県内最古級の後期旧石器時代前半期の石器が、ほかの時期の遺物が混入しない純粋な状況で発見されました。石器は約3mの範囲に集中して分布していました。

出土品はこの時期に特徴的な台形様石器(出土石器写真1~8)・スクレイパー(同9)・剥片・石核・敲石など235点です。台形様石器は長さが3cmほどの小形のナイフ形石器で、メノウや硬質頁岩製です。石核は石器の材料(剥片)を取る石、剥片は石核を打ち欠いた時に飛び散った石の破片です。上野林J遺跡では、石核と剥片等が接合する例(接合資料)があります。このことは、かつてこの場所で石器製作が行われた可能性が高いことを意味します。接合資料を観察して打ち割った順を逆に追うことで、石器作りの手順を知ることができます。接合資料の石材は黄玉石(接合資料4)、メノウ(接合資料11)などがあります。特にメノウはこの地域の台形様石器の材料に多く使われた石材です。これは石器に適した石材を選択して遺跡に持ち込んでいた事を示します。

当遺跡の出土品は発掘調査によって新潟県内で最初に発見された後期旧石器時代前半期の資料であり、その後県内で同時期の遺跡が立て続けに調査される契機となった貴重な遺跡です。また、石器の形態・製作技術・石材消費が当該期の特徴を典型的に示しており、当時の生活を解明する上できわめて貴重な資料です。

参考資料:『安田町文化財調査報告書 第14号 上野林J遺跡・上野林E遺跡』[安田町教育委員会2004]

※年代は県指定文化財台帳による。資料提供:阿賀野市教育委員会



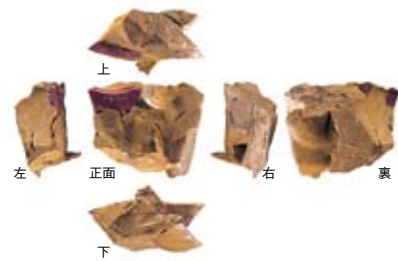
石器出土状況(東から)



遺跡遠景(南西上空から)



出土石器



出土石器(接合資料4)



出土石器(接合資料11)

埋文にいがた No.87

発行 (公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956-0845 新潟市秋葉区金津93番地1
TEL (0250)25-3981
FAX (0250)25-3986
E-mail: niigata@maibun.net
URL: http://www.maibun.net
印刷 株式会社ハイングラフ